

石神井川通行空間保全構想調査結果について

1 調査の背景と目的

石神井川は、小平市を源とし、西東京市、練馬区、板橋区、北区を流下し、王子駅付近で隅田川に合流する一級河川である。板橋区内では、昭和50年代から60年代に中板橋付近から加賀付近の川沿いに植栽された桜が、区内を代表する桜の名所として「板橋十景」に選定されており、板橋の風土を形成し、地域の魅力となる「みどり」の資産として、多くの区民に親しまれている。

一方、植栽後40年以上経過した桜は、大径木化・老木化が進行しており、歩道の根上がりや樹勢低下など、道路・緑道の通行機能および景観上の課題が顕在化している。

石神井川沿いを安全に通行できるとともに、区民に親しまれる魅力ある空間として創出するため、区では、地域特性に応じた通行空間の在り方およびその整備・管理手法を検討する「石神井川通行空間保全構想」を令和8年度に作成する予定である。令和7年度は、構想作成に向けた現地調査および課題整理等を実施した。

2 通行空間の調査概要



調査項目	現地調査実施項目		
	調査区間	道路管理 (樹木がない区間)	道路管理 (樹木がある区間)
樹木の位置	—	○	○
桜の健全度	—	○	○
植樹の長さ	—	○	○
低木の状況	—	○	○
通行空間の有効幅員	○	○	○
舗装の種類	○	○	○
舗装の不陸状況	○	○	○
照明の位置、光源の色	○	○	○
高欄の種類	○	○	○
その他付帯施設 ※ベンチ、水飲み、案内板、電撃殺虫器等	○	○	○
周辺施設	○	○	○

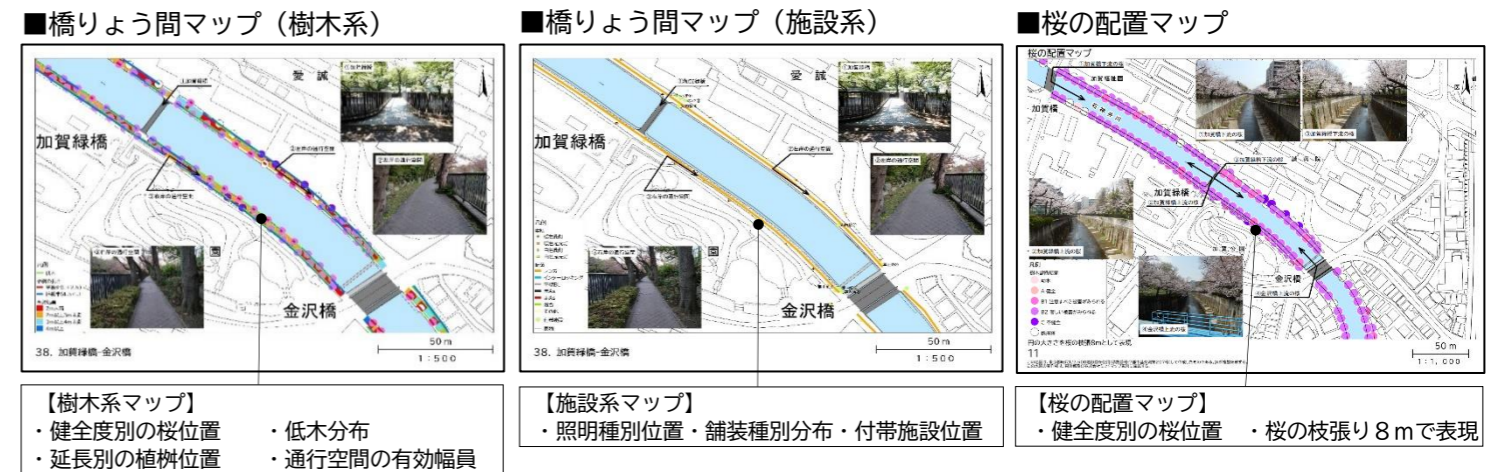
橋りょう間マップ
【樹木系】
・健全度別の桜
・低木・植樹
・有効幅員
【施設系】
・舗装種別
・照明・高欄
・その他付帯施設

桜の配置マップ
・健全度別の桜
・桜の枝張りを8mの円で表現

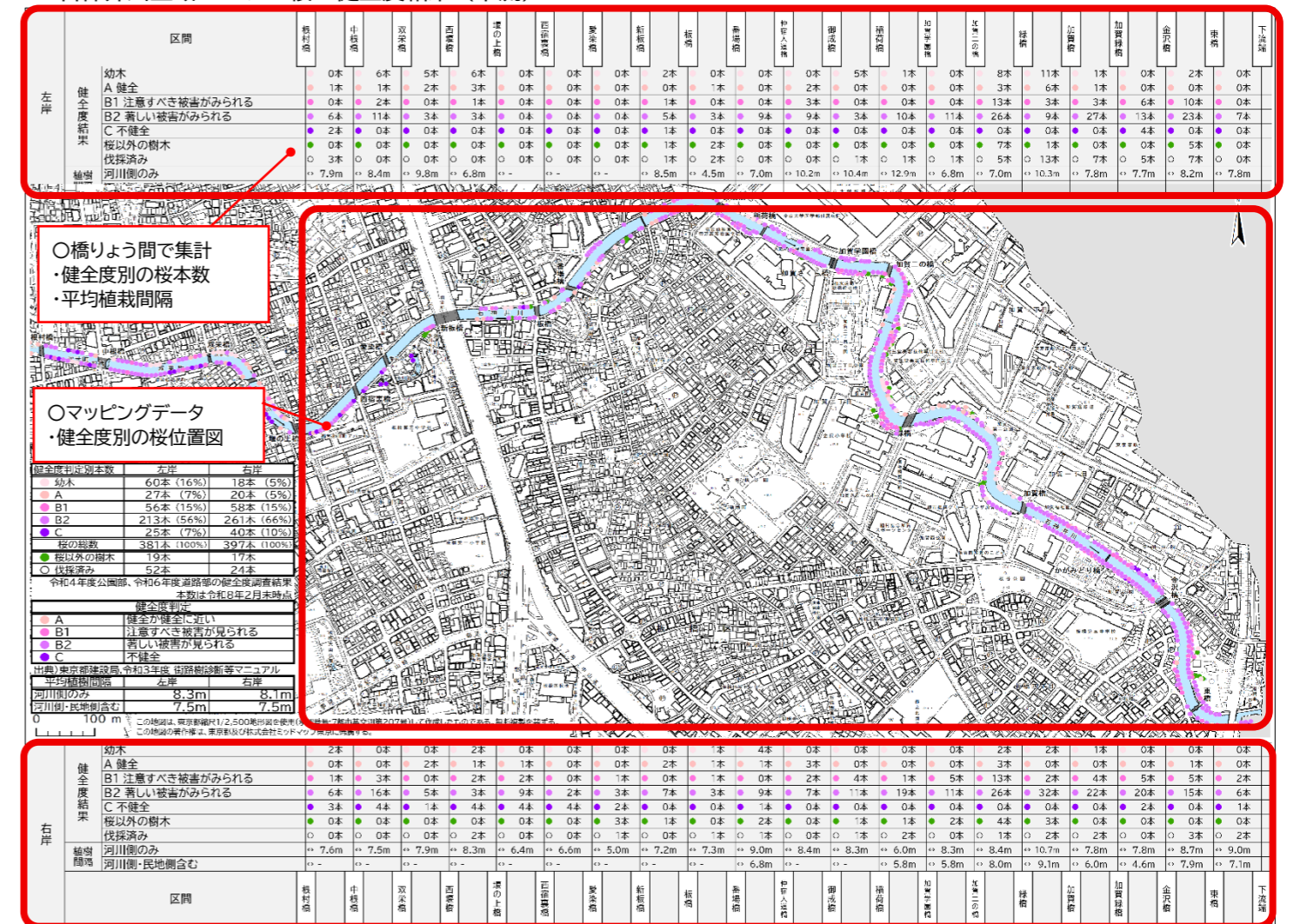
石神井川全域マップ
【桜の健全度結果】
・健全度別の桜本数
・平均植樹間隔
【通行空間の状況】
・通行タイプ
・有効幅員
・舗装種別
・植樹の長さ
・舗装の不陸
【周辺施設状況】
・周辺施設的位置

今回、現地での通行空間の調査と過去の樹木診断をもとに3つのマップを作成した。

- ・「橋りょう間マップ(樹木系)(施設系)」
1区間ごとに樹木や通行空間に関する事、施設や設備に関する事をまとめたマップを作成した。
- ・「桜の配置マップ」
桜の健全度や間隔を見やすく示したマップを作成した。
- ・「石神井川全域マップ(桜の健全度結果)(通行空間の状況)(周辺施設状況)」
橋りょう間マップ・桜の配置マップの情報を統合し板橋区内の石神井川全域を3つにまとめたマップを作成した。



石神井川全域マップ 桜の健全度結果(下流)



3 桜の現状

石神井川の桜の現状

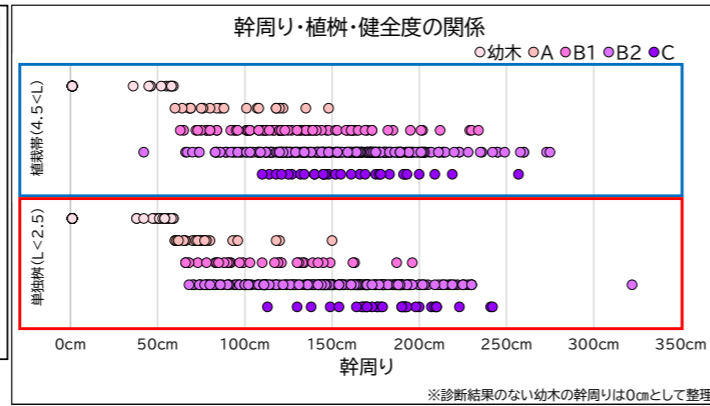
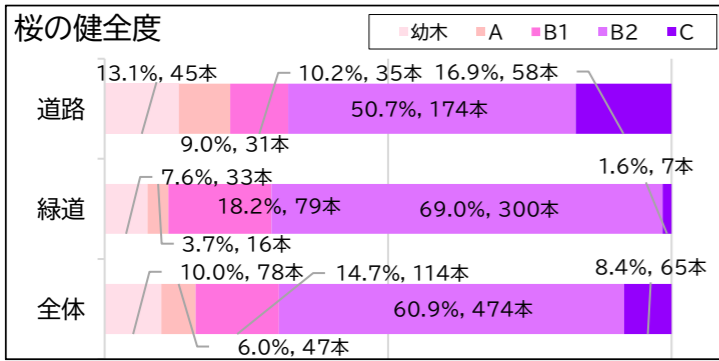
・桜778本(令和8年2月時点)のうち、著しい被害または不健全な状態と診断される「B2」「C」判定が約7割 ※道路は令和6年度、緑道は令和4年度実施の樹木診断の健全度判定より

植樹との関係

・単独樹と比較して帯状の植栽帯に植栽された桜は、幹周が大きくなってても相対的に健全度を維持している傾向がある

維持管理

・樹木診断等により老朽状況を把握し、必要に応じて伐採を検討
 ・通行空間の幅員が区間ごとに異なり、通行空間に支障がある枝は剪定など、限られた植栽空間の中で、安全確保と景観維持を両立させる管理が求められる



4 通行空間の現状

道路管理(樹木がない区間)

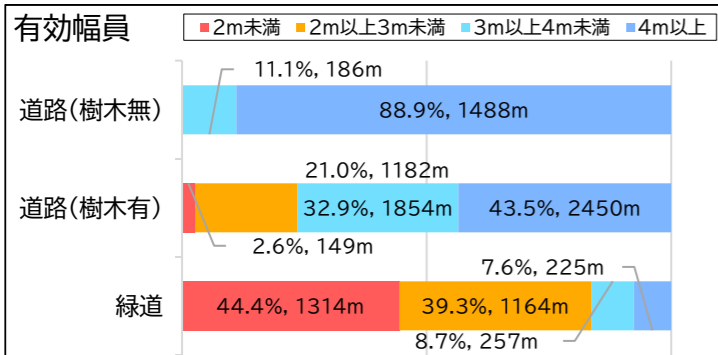
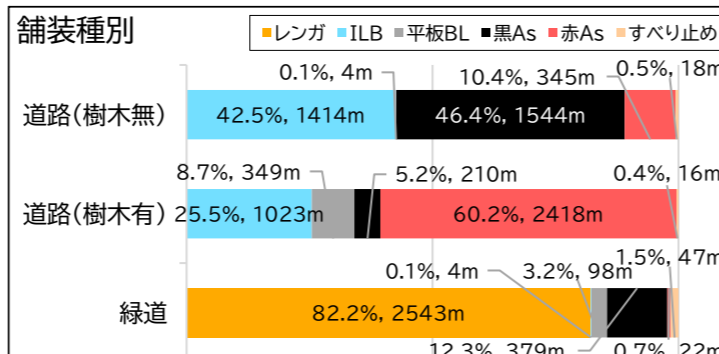
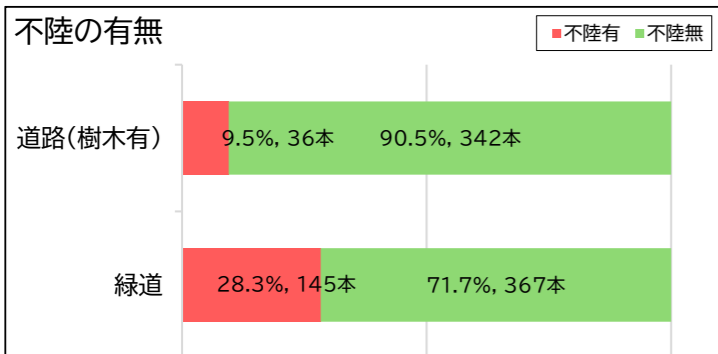
・インターロッキングや黒アスファルトなどの車両の通行に耐える舗装が多いが、統一されていない
 ・植樹がなく、通行空間の有効幅員は3m以上を確保できている

道路管理(樹木がある区間)

・1割の植栽箇所では根上りがある
 ・赤アスファルトやインターロッキングなど、桜並木と調和した色調で、車両の通行に耐える舗装が多いが、統一されていない
 ・車両の通行がある区間でも、植樹によって有効幅員が3m未満になる箇所がある

緑地管理(緑道)

・3割の植栽箇所では根上りがある
 ・車両の通行がないため、桜を含む自然環境と調和したレンガ舗装が主材となっている
 ・8割を超える区間で有効幅員が3m未満となっている



5 検討課題

桜の現状

・全体的に老朽化等が進行
 ・樹勢低下と伐採による景観の低下
 ・限られた植栽空間における育成と維持管理

通行空間の現状

・植栽樹や大径木化による通行空間の狭小化
 ・根上りによる不陸の顕在
 ・舗装種別の不統一

検討課題

・良好な景観の確保
 ・植栽間隔
 ・桜の品種の選定
 ・維持管理手法
 ・地域連携を含む協働のあり方

・植樹の選定
 ・舗装の根上がり対策
 ・桜並木と調和した舗装、照明

6 他自治体の計画

- 横浜市 戸塚区柏尾川桜並木保全・再生計画
 エリアごとの課題分析図、方針図を作成し、桜の品種の転換や植栽箇所に適した品種の選定
- 横浜市 南区さくら保全・活用計画
 植栽地の広さや歩車道幅などの環境に応じたタイプ別の整備方針を検討

石神井川沿いと近い状況にあるいずれの区においても、桜並木が市民に親しまれており、桜育成のボランティアや日常的な点検などにおいて住民参加の方針を示している。

石神井川沿いの桜も、魅力ある空間づくりやより桜に愛着を持ってもらうために、地域連携のあり方を検討していく必要がある。



7 今後のスケジュール

	R8												R9					
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6				
実施事項		委託契約	構想素案の検討 (地域への意見聴取含む)						構想取りまとめ	パブリックコメント			石神井川緑道(史跡公園沿い)R9整備設計R10,R11工事					
庁内検討会		素案内容の意見聴取				構想の意見聴取					構想作成							
庁議		調査結果の報告						12/22						構想策定				
都市建設委員会	閉 5/14		素案の報告 構想に向けた意見聴取					閉 1/21					2定 6月中旬					

【素案の検討】

・地域特性に応じた維持管理、再整備の在り方
 ・桜並木の再配置
 ・桜並木整備と連動した整備(舗装、照明、植栽等)
 ・史跡公園整備と協議

【構想取りまとめ】

・維持管理、再整備の方針を掲示
 ・標準的な整備イメージの例示
 ・エリア毎の将来イメージパース、断面イメージ図の作成